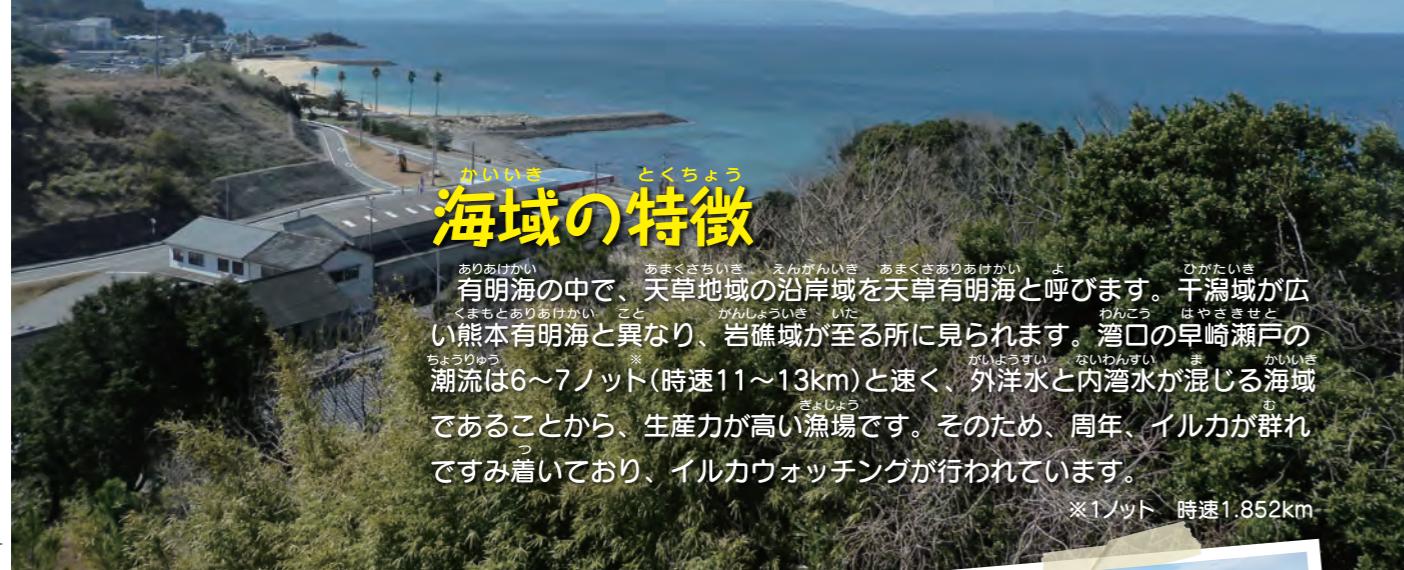


あまくさ有明海 AMAKUSAARIAKEKAI



海域の特徴

有明海の中で、天草地域の沿岸域を天草有明海と呼びます。干潟域が広い熊本有明海と異なり、岩礁域が至る所に見られます。湾口の早崎瀬戸の潮流は6~7ノット(時速11~13km)と速く、外洋水と内湾水が混じる海域であることから、生産力が高い漁場です。そのため、周年、イルカが群れでみ着いており、イルカウォッチングが行われています。

*1ノット 時速1.852km

漁業の紹介

この海域では、外洋から入ってきたり、岩場に生息する魚類などが網や釣りなどで漁獲されるほか魚類や海藻などの養殖業が行われています。



小型定置網の操業風景



マダコモニュメント



干しタコ



主な漁業

小型底びき網(しお打瀬網)、たこつぼ、一本釣り、曳き縄、いかかご、固定式刺し網、小型定置網、魚類養殖、くろめ・わかめ養殖

しお打瀬網

手操網から進歩した底曳き網の一種。打瀬網は、幕末期や明治期に盛んに行われるようになり効率的な漁法として注目された。

漁業の種類名(許可、免許の正式名称)

地方名

漁の時期

名前の由来

漁の方法

主な漁業者の住んでいる場所

主な漁場

主な魚の種類

小型機船底びき網漁業(打瀬漁業しお打瀬網漁業)

しお打たせ

1月を除く周年

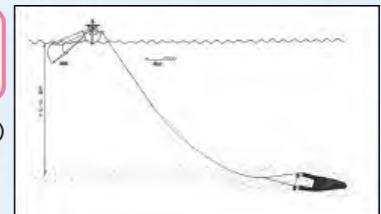
潮の流れの力を利用する打瀬網であることが名前の由来。

底びき網の一種で、帆船を使い、潮流を利用して海底の網をひく。砂泥で障害物のない海底で、エビ、カニ、カレイ類、ヒラメなどの魚介類を漁獲する。

上天草市大矢野町、天草市五和町、天草郡喜北町

有明海

エビ・カニ類、カレイ類、ヒラメ、フグ、オコゼ、カワハギ



たこつぼ

タコを壺で捕獲する。兵庫県明石がその発祥の地といわれる。材質は素焼きの陶器が主流であるが、近年はプラスチック製もある。たこつぼで漁獲されるタコは、体が傷つかないため珍重される。



漁業の種類名(許可、免許の正式名称)

地方での名前

漁の時期

名前の由来

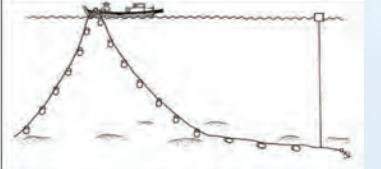
漁の方法

たこつぼ漁業(たこつぼ漁業)

たこつぼ

周年

漁具の形が壺状であることが名前の由来と思われる。



主な漁業者の住んでいる場所

主な漁場

主な魚の種類

上天草市、大牟市、大牟郡喜北町全域

有明海、八代海、天草灘

マダコ、イイダコ

一本釣り

漁船の上から、釣具を使用して魚を釣る漁法で、対象魚種や海域、個人によって仕掛けや餌は多様である。餌にはエビ、イワシなどを使用する。疑似餌も使うことがある。



漁業の種類名(許可、免許の正式名称)

地方名

漁の時期

名前の由来

漁の方法

一本釣り

釣り

周年

一本の釣り糸で釣る漁法であることが名前の由来

県内沿岸域

有明海、八代海、天草灘

マダイ、アジ、カサゴ、コウイカ、イサキ、ヒラメ等

やつ しろ かい し ら ぬ い か い

八代海(不知火海)

YATSUSHIROKAI (SHIRANUKAI)

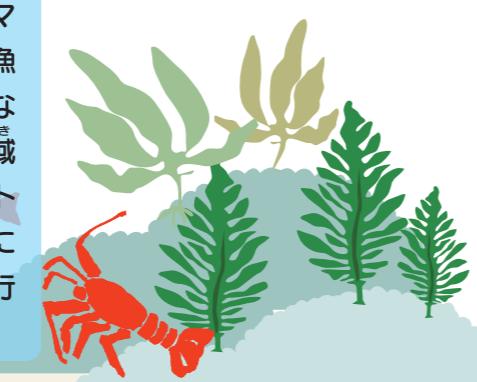


海域の特徴

北部には、干潟域が広がり内湾性の特徴が強く、中央部から南部にかけては、徐々に外洋性の特徴が強くなります。潮流は、有明海に比べると穏やかですが、球磨川などからの豊富な栄養分が流れ込み、生産力が高い海域です。

漁業の紹介

千潟域でのアサリなどを対象とする採貝漁業をはじめ、中部以南でのマダイ、タチウオ、ヒラメ、ハモ、カタクチイワシ、ガザミ類、クマエビなどを対象とした、吾智網漁業、流し網漁業、刺し網漁業、船びき網漁業、打瀬網漁業など様々な漁業が行われています。また、千潟域でののり養殖業、浦湾でのマダイ、ブリ類、トラフグなどの魚類養殖業、真珠養殖業、さらに堤防を作つて行うくるまえび養殖業が盛んに行われています。



12



アカモクとメバル類の幼魚



倉岳えびす像

主な漁業

小型まき網、打瀬網、小型定置網、流し網、刺し網、吾智網、いわし機船船びき網、魚類養殖、くるまえび養殖、のり養殖、あおのり養殖、ひとえぐさ養殖、一本釣り、曳き縄



13